

第1日 4/7(土)

A会場
(A13教室(1階))

B会場
(A14教室(1階))

C会場
(A26教室(2階))

D会場
(A27教室(2階))

E会場
(A28教室(2階))

10:00	L-1 加藤隆文 プラグマティズムと实在: パースの实在論と実践的 实在論をめぐって	L-2 安田清一郎 A vagueness in Quine's "Epistemology naturalized"	L-3 太田陽 情動についての消去主義 は擁護可能か	L-4 北野孝志 技術評価の意義に関する 哲学的考察	/
10:50	司会: 出口康夫	司会: 奥田太郎	司会: 笠木雅史	司会: 斉藤了文	

10:55	L-5 伊勢俊彦 因果性・変則事態・感情	L-6 OSBERG, Andrew Room to Breathe: Freeing contemporary philosophy of its science and engineering baggage	L-7 山口尚 日本自由意志論史序説— —丹治信春の岐路	L-8 斉藤了文 サステイナブルな社会に 向けての技術論的考察	/
11:45	司会: 奥田太郎	司会: 出口康夫	司会: 笠木雅史	司会: 北野孝志	

11:50	S-1 成瀬翔 社会的現実と メイクビリーヴ	S-2 Hiroyuki Matsumoto Category theory explains the reversible transition of physiological states and its disruption through the modulation of duality	S-3 石田柁 帰結主義的差別論の諸問 題——差別未遂の悪さは いかに説明されるか	S-4 遠藤 耕二 ヘイト・スピーチにおける 規制および対抗言論の 是非	/
12:15	司会: 佐金武	司会: 出口康夫	司会: 笠木雅史	司会: 和泉悠	

昼休み・理事会(A26教室)

13:15	L-9 豊島史彬 傾向的因果理論を評価す る: 反事実条件的分析との 対比から	L-10 中根杏樹 理由の内在于主義と価値の 非主観性	L-11 佐藤広大 〈作品の意味〉と作者の 意図——仮説的意図説 への挑戦——	L-12 勝亦佑磨 目的論的機能主義に基づ く志向性の自然化——学 習に基づく表象論の検討	L-13 小松原織香 環境問題と紛争解決 「ディープ・エコロジー」から 「修復的正義」へ
14:05	司会: 伊勢田哲治	司会: 杉本俊介	司会: 稲岡大志	司会: 岡本慎平	司会: 吉永明弘

14:10	L-14 清水雄也 因果の概念工学へ—— 規定的な概念研究の擁護	L-15 和泉悠 「土人が」の意味論と 語用論	L-16 谷川嘉浩 Change by Design! でも、デ ザイナーはどこにいるのか ——パパネック、ミルズ、セ ネット、つまり、デザイン思考 とプラグマティズム—— 司会: 稲岡大志	W-1 杉本俊介 井戸田博樹 岡部幸徳 中谷常二	W-2 吉永明弘 山本剛史 熊坂元大 寺本剛
15:00	司会: 伊勢田哲治	司会: 森岡正博	司会: 稲岡大志		

15:05	L-17 高崎将平 操作論証への応答	L-18 遠藤進平 脅迫から考える合理性	L-19 林和雄 J.S.ミルにおける快樂の質 と主体の変容	ソーシャルメディアのビジ ネス倫理	ローカルな環境倫理に関 する新しい研究アプローチ
15:55	司会: 戸田山和久	司会: 森岡正博	司会: 榎本直樹		
16:10					

16:15	[Symposium] Modernism and Modernisation of Mathematics (A31(3階))【一般公開、参加費無料】				
	Jeremy Gray: "Poincaré and Weyl: two dissenters from mathematical modernism." Susumu Hayashi(林晋): How was Mathematics modernized?				
18:30	Moderator: Masao Morita(森田真生)				

18:40	茶菓子懇親会・応哲賞発表				
19:30					

第2日 4/8(日)

A会場
(A13教室(1階))

B会場
(A14教室(1階))

C会場
(A26教室(2階))

D会場
(A27教室(2階))

E会場
(A28教室(2階))

10:00	L-20 新川拓哉 意識についての問いの体系的見取り図	L-21 森岡正博 人称的世界はどのような構造をしているのか	L-22 太田紘史 実験哲学への誤解反論に潜む誤解:フランクファート型事例の場合	L-23 鈴木真奈 ゲーミングツールnocobonのクリティカル・シンキング授業への応用例	L-24 岡本慎平 構成主義者にとって「行為者モドキ(shmagency)」問題はどれほど致命的か?
10:50	司会:大西琢朗	司会:伊勢俊彦	司会:神崎宣次	司会:成瀬尚志	司会:直江清隆
10:55	L-25 鈴木聡 Scale Types in Measurement-Theoretic Semantics	L-26 山森真衣子 哲学的自己言及のパラドクスは解決可能か?	L-27 稲岡大志 哲学者は「ポピュラー哲学」から何を学び、何を期待することができるか?	L-28 高野保男 言語ゲームの外部、あるいは、教育と哲学の関係性について	L-29 太田 雅子 無知の責任と無知による行為の責任
11:45	司会:大西琢朗	司会:鈴木真奈	司会:神崎宣次	司会:成瀬尚志	司会:直江清隆

昼休み・ポスター発表コアタイム(A15教室:11:50~12:50)

13:00 13:30	総会(A21教室(2階))				
----------------	---------------	--	--	--	--

13:40	W-3 清水右郷 戸部真澄 藤岡典夫 林岳彦 予防原則のメジャーアップデート	W-4 金光秀和 河野哲也 久木田水生 直江清隆 鈴木俊洋 技術哲学のアクチュアリティ:人とモノの関係の考察	W-5 成瀬尚志 笠木雅史 稲岡大志 型と暗記	W-6 神崎宣次 笹橋一輝 江間有沙 太田和彦 食と農のための応用哲学	W-7 服部俊子 堀江剛 大北全俊 樫本直樹 「医療の組織倫理」という視点
15:40					
15:50	W-8 神崎宣次 杉本俊介 大庭弘継 岡本慎平 清水雄也 応用哲学としての宇宙倫理学の現在	W-9 出口康夫 加藤猛 工藤泰幸 唐沢かおり 西郷甲矢人 Society 5.0を応用哲学する:ITシステムと社会規範	W-10 矢田部俊介 朱喜哲 大西琢朗 論理学の哲学と推論主義	W-11 寺本剛 鈴木俊洋 齋藤宜之 竹中真也 農業という技術について考える	W-12 奥田太郎 唐沢穰 膳場百合子 松村良之 村上史朗 責任と法をめぐる「素朴理解」に関する実証研究とその哲学的含意
17:50					

ポスター発表:A15教室 (ポスターは両日をつうじて掲示。コアタイムは4月8日(日)の11時50分から12時50分。)

P-1 Hiroyuki Matsumoto Ontology log illustrates discrepancy among knowledge representations built in different disciplines	P-2 太田和彦 日本型環境倫理は誰から何を期待されているのか—環境政策評価と自然観の分析	P-3 木山幸輔 デモクラシーへの人権の論証に関する予備的考察	P-4 大庭弘継 トロツコ問題の「適用」:人道的介入にみる取り扱い上の注意
---	--	--	--